

## 学校運営協議会実施報告書

---

岐阜県立中津商業高等学校

校 長 森 岡 孝 文

学校住所 中津川市駒場大岩 1646 電話 (0573)66-1358

---

- 1 会議名 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和3年2月8日(月) 書面開催
- 3 参加者 委 員 成瀬 博明 同窓会副会長、中津川商工会議所専務理事  
(敬称略) 名城 仁志 PTA会長  
青木 完治 地域住民代表 学識経験者  
西村 友孝 中津川市中山道資料館館長  
李 瑾 中京学院大学 准教授  
安江めぐみ 中津川市役所定住推進課市民協働課推進対策官  
市川 順子 中津川市役所定住推進課市民協働課主査
- 学 校 側 森岡 孝文 校長  
安藤 範和 教頭

#### 4 会議の概要(協議事項)

テーマ 「令和2年度の取組について」

- (1) 「課題研究」学習成果発表会(1月27日)について
- (2) 令和3年度 中津商業「ふるさと教育」関連事業について
- (3) その他

#### 【委員よりいただいたご意見】

##### (1) 「課題研究」学習成果発表会(1月27日)について

- 意見1 ・これからの企業人には、企画力、プレゼン力、発想の活用力が望まれている。数年前からふるさと中津川に着目し、地域の特産品や名物などについてのブラッシュアップの方法を工夫させ、少しずつレベルアップしていると思う。
- 意見2 ・どのコースも学習の成果や今後の課題等を分かり易く提示しようとする努力が見られた。
- 意見3 ・コロナ禍で活動が制限される中でも、それぞれのコースで工夫をして開発や研究などができていたと思う。活気がなく不安な毎日を過ごしていた時期に、明るい話題であった。

- 意見4 ・コロナ禍のこの状況でも、これほど活発に活動を続けていたとは知らず、一生懸命取り組んだ生徒たちに申し訳なく思った。ぜひ、校内だけの成果で終わらず、地域や行政とも連携して、さらに活動が深まってくると、とても面白いと感じる。
- 意見5 ・各コースの生徒たちが、皆コロナに負けず研究や学習を続け、しっかりと成果を上げたことに感激した。特に観光ガイド班の活動に目を引かれた。来年度の報告を楽しみにしている。
- 意見6 ・生徒としては、もっともっとやりたいと思う場面もあったと思うが、発表時の明るさにとっても救われる思いがした。これからも後輩へとつながる活動をぜひ続けてほしい。
- 意見7 ・六斎市などでの販売において、どれだけ販売すれば採算がとれるかなど、マーケティングの結果について発表できるとよい。
- 意見8 ・若者らしいネットやスマホなどの活用方法も発表するとよい。

(2) 令和3年度 中津商業「ふるさと教育」関連事業について

- 意見1 ・地域連携による活力ある高校づくり推進事業は、受入れ地元企業と本校の双方にとって、とても価値のある事業だと思う。令和3年度以降、予算化されなくても継続すべき事業として、是非計画立案してほしい。
- 意見2 ・域学連携、移住定住施策、観光事業での集客や情報発信、ふるさと納税など、高校生の視点で中津川市と一緒に取り組んでいけるとよい。

5 会議のまとめ

今年度のまとめとなる生徒たちの発表を録画映像で確認いただき、コロナ禍でも工夫しながら取組を推進した成果をご覧いただくことができた。3年生から後輩へのメッセージを込めた発表でもあり、次年度以降も取組を継続するとともに、新たな視点も取り入れながら、ふるさと教育を通じた生徒たちの学びの充実を推進していきたい。